

平成 28 年度 第 2 回伊豆市地域公共交通会議 会議録

日 時：平成 29 年 1 月 27 日（金） 14 時～16 時 30 分

場 所：伊豆市生きいきプラザ 第 1・2 会議室

委 員：16 名

| 機関・団体・役職名等 | 氏名 | 役職 |
|---------------------------|----------|-----|
| 伊豆市長 | 菊地 豊 | 会長 |
| 伊豆市副市長 | 本多 伸治 | |
| 総合政策部長 | 和智永 康弘 | 副会長 |
| 健康福祉部長 | 村井 克代 | 委員 |
| 産業部長 | (代)堀江 啓一 | 委員 |
| 教育部長 | 金刺 重哉 | 委員 |
| 国土交通省中部運輸局静岡運輸支局首席運輸企画専門官 | 鈴木 成幸 | 委員 |
| 静岡県交通基盤部都市局地域交通課長 | 林 聖久 | 委員 |
| 伊豆箱根バス株式会社 取締役営業部長 | (代)井上 貴之 | 委員 |
| 株式会社新東海バス 代表取締役 | 土屋 成人 | 委員 |
| 静岡県タクシー協会 賀茂・修善寺副支部長 | 寺山 冗二 | 委員 |
| 静岡県沼津土木事務所 技監兼修善寺支所長 | 古屋 徹之 | 委員 |
| 建設部長 | 齋藤 満 | 委員 |
| 株式会社伊豆中央自動車 代表取締役 | 佐藤 諭 | 委員 |
| 伊豆市区長会長 | 湯川 清一 | 委員 |
| 伊豆市 P T A 連絡協議会長 | 鴻野 英樹 | 委員 |
| 伊豆市老人クラブ連合会長 | 鈴木 實 | 委員 |
| 東海自動車株式会社 自動車営業部 部付課長 | (代)鈴木 勝喜 | |
| 伊豆箱根バス株式会社 営業部乗合課 主任 | 岩崎 勝一 | |
| 東洋大学 国際地域学部 国際地域学科 教授 | 岡村 敏之 | 評議員 |
| 総合戦略課長 | 佐藤 達義 | 事務局 |
| 総合戦略課 主幹 | 森嶋 哲男 | 事務局 |
| 総合戦略課 主査 | 飯田 克彦 | 事務局 |
| 総合戦略課 主任 | 室住 実希 | 事務局 |
| 総合戦略課 主任 | 下村 亮介 | 事務局 |

資料：①次第、②席次表、③委員名簿、④伊豆市地域公共交通会議設置要綱、⑤資料 1 次年度運行に係わる協議事項、⑥補足資料 静岡県地域間幹線系統確保維持改善事業評価基準、⑦資料 2 路線系統図・ダイヤ ⑧資料 3-1 これまでの検討経緯と第 2 回伊豆市地域公共交通会議の議題について ⑨資料 3-2 伊豆市生活交通ネットワーク形成計画（伊豆市地域公共交通網形成計画）～概要～、⑩伊豆市生活交通ネットワーク形成計画（案）、⑪資料 5 南伊豆・西伊豆地域公共交通網形成計画について

1. 開 会

2. 挨拶（市長）

冬になると苦い思い出があるが、-20℃のドイツの石畳で滑るだろうと思いつつカーブを曲がったら滑った。青森の高速道路でも同様に思ったがブレーキをかけてやはり滑った。アイスバーンで滑ることはこんなにもどうにもならないのだと思う。その時は後続車がなく幸いだったが、皆さんもくれぐれも車の運転にはご注意くださいと思う。

地域公共交通だが、現在、国も当市もコンパクトとネットワークという事業に向けて進んでいる。ネットワークをやらなければ田舎を苦しめるだけの悲惨な状況になる。コンパクト化は勇気をもって進めるが、それを成功させるためにもネットワークの構築、特に当市のような中山間地におけるお年寄りと子どもの足の確保は、必ず、不可欠なものだと思っている。今回も皆さんのお知恵を賜りたいと思うので最後までよろしくお願ひしたい。

<会議の成立報告・議事録の公開>

3. 議事

（1）次年度運行に係わる協議事項について

資料1、資料2について事務局より説明。

【質疑応答】

委 員：前回の会議でも述べさせていただいたが、狩野川の東側への路線を開設するかについて、東海バスの現段階の見解をいただきたい。

委 員：道路改良が先であるため、現段階ではなんとも言えないが、需要があれば路線は開設していきたい。需要がどの程度あるかの見極めが必要となるが、魅力的な路線ではあると考えているので、今後検討していきたい。

委 員：地域の要望も出ているので、なんとかお願ひしたい。

事務局：次の議題で詳細に説明するが、中学校の再編に伴い、佐野や雲金を運行することも検討している。

委 員：資料2の乗車密度は、どのような式で算出されているか。

事務局：乗車人数と運行回数で割っているが、表には掲載されていない指標もある。

委 員：平均乗車距離は、系統距離とは異なるのか。

委 員：平均乗車距離は、利用者の平均乗車距離となるため、系統距離とは異なる。

会 長：路線バスの評価指標に関連するが、ジオパークの件で英国に出張に行った際、バスや鉄道の車両の汚れが目立ち、日本の車両は非常に綺麗と感じた。そのような評価も指標になればよいと感じた次第である。

【協議結果】

資料のとおり『 承 認 』

（2）伊豆市生活交通ネットワーク形成計画案について

資料3、資料4について事務局より説明。

【質疑応答】

委員：資料4の62ページの事業スケジュールについては、取り組みの実施主体の記載が必要となる。表の列を増やすなどして、実施主体（行政、事業者、住民など）を記載いただきたい。

事務局：承知した。

委員：1つ目は、課題の2点目でオリンピック・パラリンピックへの移動の対応が掲げられているが、生活交通の見直しを検討する本計画で、オリパラまで対応するか疑問である。2つ目は、課題の全般で「行きやすさ」「しやすさ」などが散見されるが、具体的にどのような対応が必要か、整理が必要と考える。3つ目は、課題の4点目で地域に見合ったという記載があるが、地域ごとの課題を整理すべきと考える。

事務局：1つ目については、総合計画という位置付けの中、観光やまちづくりもあり、既存路線を活用しながらなどの視点も持ってはいるが、まとめきれていないので、表記は見直しを行いたい。2つ目については、記載が不十分な点をご指摘の通り。高齢者ヒアリングや住民意見交換会で買い物移動の不安などは確認できているので、既存の交通手段、将来の移動の足の確保は整理していきたい。3つ目については、高齢化の進展など、共通した課題はあるが、64ページ以降で示すように、地域ごとに課題は異なるので、整理していきたい。

委員：課題の部分がぼけてしまうと、事業内容が適切か、議論ができないため、検討いただきたい。

会長：オリンピック・パラリンピックについては事務局意見もあるが、計画の中ではあくまで中間目標となる。観光という目標もあるので、盛り込んでいきたい。

会長：地域ごとの課題になるが、狩野川の東側の地域については、月ヶ瀬インター整備、中学校再編、都市計画の線引きの見直し、ゴミ処理焼却場の建設など、様々な事業が進む中での現状と認識いただきたい。また、中伊豆地区と土肥地区は、支所周辺に施設がある程度集中しているが、天城湯ヶ島地区については、インター、病院、支所、学校が点在しており、地域特性が異なるため、苦勞している。

コブ体カ：課題での「行きやすさ」「移動しやすさ」については、目的地への公共交通でいけるか、という認識で良いと考えている。

会長：バスの車両の更新の補助については、国や県の補助はあるか。

委員：バスの車両購入補助は国で制度化されているので、検討いただきたい。

会長：子ども園の訪問でわかってきたが、子どもの通学について保護者から非常に多くの意見が出ている。遅くとも平成29年度中には検討し、平成30年度から改善を進めていく必要がある。

コブ体カ：菊池会長の指摘事項については、計画に反映しても、大きな方針の変更はないという理解でよいか。

会長：そのような理解でよい。

委員：保護者の意見、立場上十分に把握している。新中学校が通勤先と反対方向のた

め、送り迎えをしていると通勤に間に合わないなどの意見が多く出ている。小・中学生の通学手段の確保については、ぜひこの計画を機に見直しを進めていただきたい。

コーディネーター：反対とはいかないまでも、不安は非常に感じていると思われる。この件は、是非進めていただきたい。

委員：市長の発言、高齢者ヒアリングにあるように、車両の更新（ノンステップバスなど）が重要と考えるが、これに対する市の姿勢はどうなっているか。

事務局：車両更新については、事業者や国と相談しながら更新を検討していきたい。介助者については、支線の見直しと一緒に検討していきたい。

4. その他

(1) 南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会 取組状況について
資料5について静岡県地域交通課 林課長より説明。

(2) その他

今後の予定について事務局より以下の通り説明。

事務局：今後の予定としては、2月中旬よりパブリックコメントを実施する。本日の議論を踏まえ修正するため、意見等があれば連絡いただきたい。また、修正が大きくなった場合は、書面等で確認する機会を設ける。

事務局：次回の交通会議は、3月24日の14時からを予定している。また、交通会議の翌日にシンポジウムの開催を予定している。これらの詳細はまた別途連絡する。

6. 閉会（16時30分）